

桑江伊平地区まちづくり 地区別説明会

平成 21 年 3 月 25 日 (水)
北谷町役場庁舎 1 階 (レゾナンスホール)
午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分

《 会 次 第 》

【 司 会 】

桑江伊平まちづくり協議会 安村祥子

1、開会の挨拶

桑江伊平まちづくり協議会 会長 日野 繁

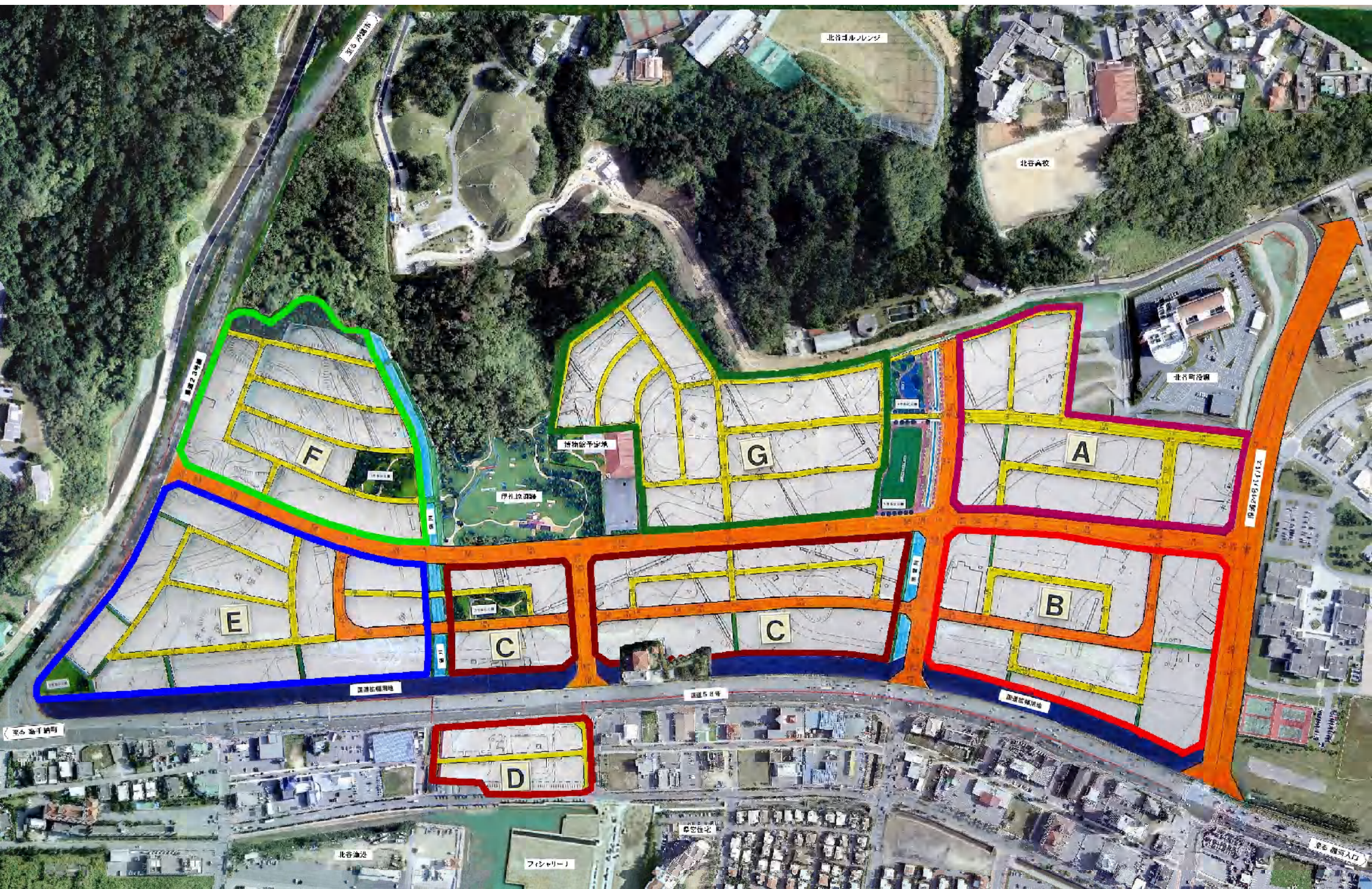
2、桑江伊平地区内 F・G 地区説明

協議会委員 沖縄大学法経学部 教授 小野啓子

3、意見交換

4、閉会の挨拶

桑江伊平まちづくり協議会 副会長 玉城清松



北谷ゴルフリンクス

北谷小学校

北谷町役場

神物留平公園

伊礼公園

F

G

A

E

C

C

B

D

北谷漁港

フィッシャー

住宅地

住宅地

東横田公園

東横田公園

東横田公園

東横田公園

東横田公園

北谷町役場

北谷町役場

中通りの整備イメージ（案）

●建物の作り方

詳細は地区計画で検討する必要がある
（例：建物の外壁の色は派手な原色を避ける、
ただしアクセントカラーはOK、セットバック等）



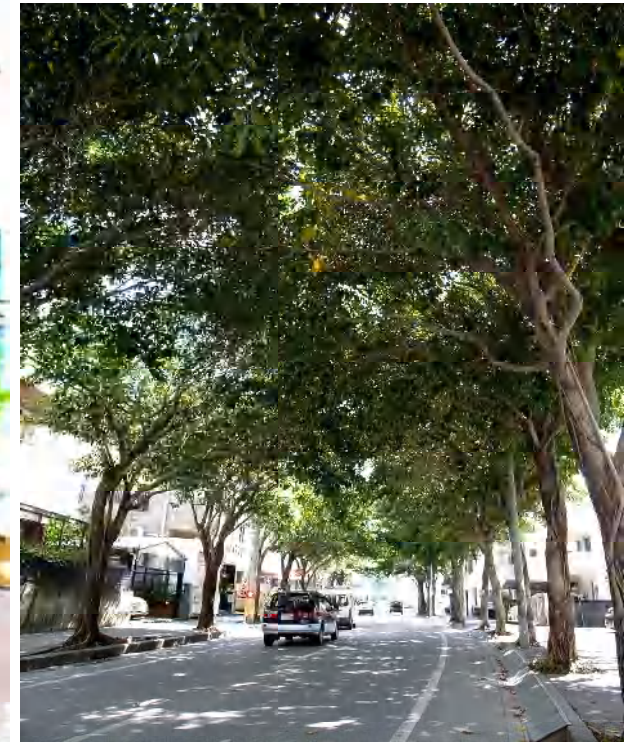
作画 小野啓子

●歩道の作り方

・舗装はシンプルで感じよく、管理しやすいものとする（アスファルト、
グレーのインターロッキング等）
・樹木の植栽マスは余裕を持たせる

●緑陰をつくる並木

・樹種はフィッカスハワイ
・できるだけ並木の連続性を維持する
ため、5mピッチを基準とし、
10m以上は間隔を空けない
・車路等の切り下げは並木を避ける
（1敷地1ヶ所）



イメージ写真：フィッカスハワイの並木

奈留川沿い 4号・5号街区公園イメージ (案)



4・5号街区公園 平面図



4・5号街区公園 鳥瞰図



■ 水辺のイメージ



■ 原っぱのイメージ

徳川周辺、公園の整備イメージ（案）

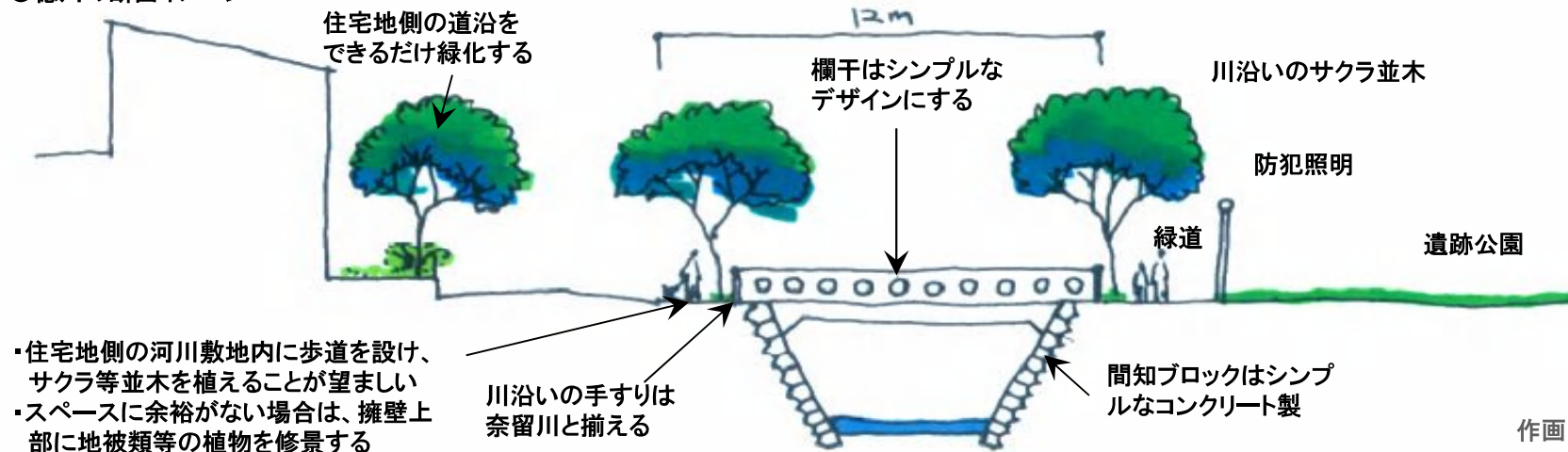
●街区公園のイメージ

- ・芝生の原っぱを基本とする
- ・日陰をつくったり、木登りができるシンボルツリー（高木）。ガジュマルやホウオウボクなど
- ・防犯照明
- ・作業小屋（維持管理の道具を入れる、手を洗う）

●川沿いのサクラ等の並木

- ・縁道沿いに58号線まで続くヒカンザクラ等の並木

●徳川の断面イメージ



- ・住宅地側の河川敷地内に歩道を設け、サクラ等並木を植えることが望ましい
- ・スペースに余裕がない場合は、擁壁上部に地被類等の植物を修景する

●斜面緑地の保全

- ・景観上重要な斜面緑地の保全を図る

●150坪以上的高级感のあるモデル的な住宅街区

- ・南入りの敷地をうまく取れるよう街区内の敷地割りを工夫することが望ましい

戸建て住宅地の整備イメージ（案）

●住宅地の景観形成

- ・少なくとも敷地1本、シンボルツリー（高木）を植える
- ・できれば駐車台数1台につき1本



作画 小野啓子

●フェンスの高さを抑える

- ・高さは120センチ以下、60センチ以上の部分は透過性とする

●駐車場の緑化

- ・駐車場についてはできるだけ緑化する

●沿道の植栽帯

- ・沿道に60センチ程度の植栽帯を設ける

●擁壁の作り方

- ・できるだけ擁壁を1m以内の高さに抑えるようにする
- ・高い擁壁ができる場合は緑化修景する



イメージ写真

出典：コモンで街をつくる：宮脇檀の住宅地設計、宮脇檀建築研究室編、丸善プラネット、1999年

北谷町桑江北地区まちづくりイメージ図

まちづくりの全体コンセプト:

豊かな森と水と歴史の北谷の山の手(川の手)

- ① 2つの川の軸と緑陰の軸(中通り)を中心に落ち着いた大人のまちを目標とする(山の緑、川、泉、歴史遺産を活かして百年の計となるようなまちの骨格をつくる)
- ② 全体をひとつのルールでコントロールするのではなく、7つの地区の特性に応じたまちづくりのルールをつくる
- ③ 全体のまちづくりを引っ張る先行プロジェクト(特に公共空間のデザイン)が重要
- ④ 地区と全体のバランスを見ながらまちづくりに取り組んでいく組織づくりが必要

①川の軸(北側)

- 川の両側に散策路(公園、緑道)が山側から58号線まで続く
- 川沿いの散策路の両側にヒカンザクラ、センダンギなどの並木
- 上流は水量が少ないので緑地としての河道の作り方を工夫する

⑩F地区:戸建住宅地

- 国体道路沿いは集合住宅の立地も考えられる
- 傾斜がきついため雑壇状造成をしないと擁壁が大きくなる(造成費がかさむ)
- 街区単位での一体的利用も必要か?
- ある程度のまちづくりのルール化が必要(緑化、駐車場の取り方等)

⑫自然と歴史と文化が一体の遺跡公園

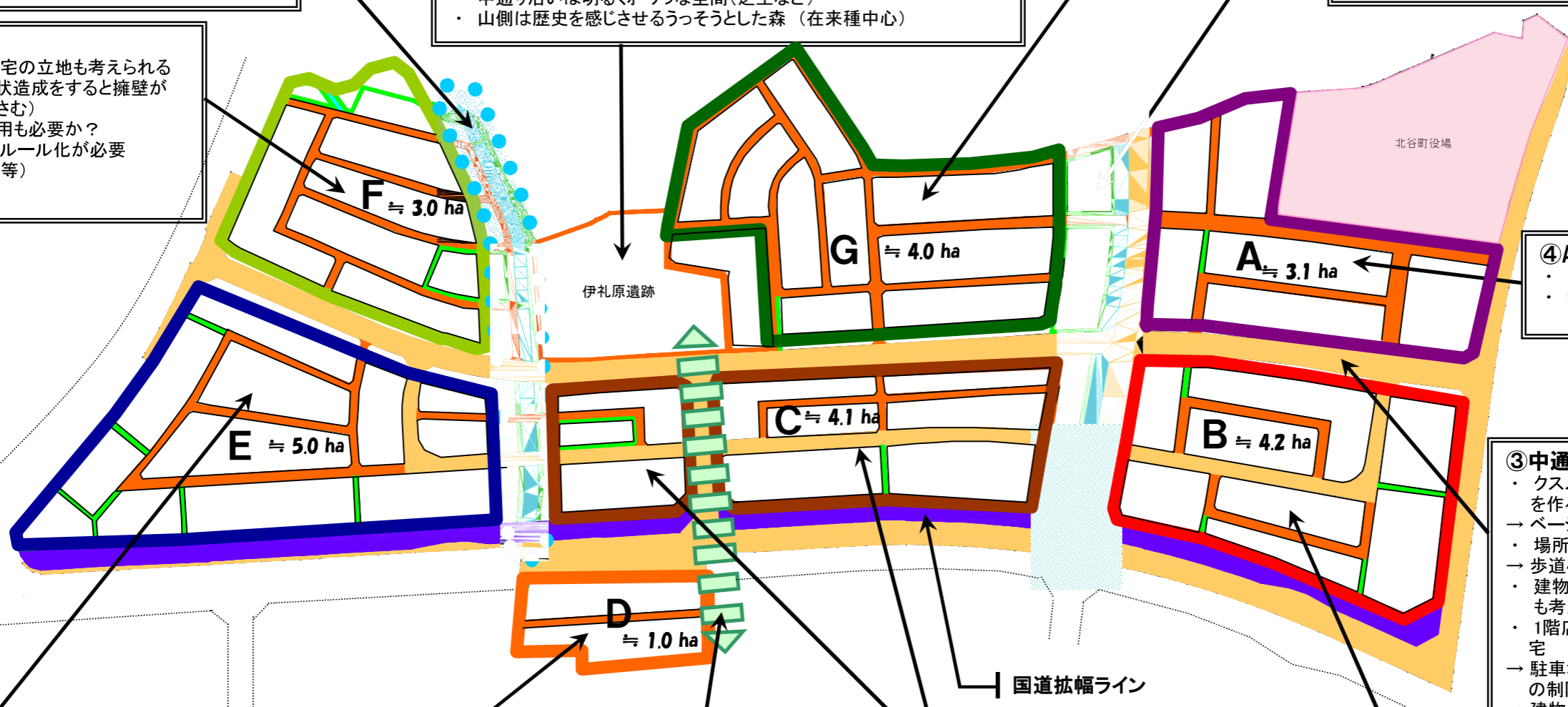
- 稜線の緑を残す
- できるだけ自然を残す(建物をできるだけ目立たせない)
- 屋外展示に力を入れる(説明文などを充実させる)
- 遺跡公園の一部にわき水を利用した親水空間(「森の川」のイメージ?)
- 中通り沿いは明るくオープンな空間(芝生など)
- 山側は歴史を感じさせるうっそうとした森(在来種中心)

⑪G地区:戸建住宅地

- 山側に100坪以上の大敷地の高級住宅地を作る(通称「桑江ヒルズ」)
- 風格のある景観づくり
- かなり厳しいまちづくりのルール化も可能か?(緑化、駐車場の取り方等)
- 中通り沿いは集合住宅
- 駐車場の取り方の工夫と駐車場入口のある程度の制限が必要

②川の軸(南側)

- 川沿いに緑道、街区公園、民地側のオープンスペースが連なる水辺空間を創出
- 川沿いの散策路の両側にヒカンザクラ、センダンギなどの並木
- 街区公園と水辺の一体化(川の水量が豊富)
- 緩傾斜の川岸などの親水公園化を図るが、デザイン的にやりすぎないことが大切
- 増水時の対策が必要
- 芝生の広場に大木の影のシンプルな街区公園



④A地区:北谷町役場周辺

- 公共・公益施設(銀行、郵便局など)
- オフィス、集合住宅など

③中通り=まちの背骨

- クスノキ、フィカスハイワイなどの並木で緑陰の軸を作る
- ベーシックな雰囲気(「普通の上等」)で
- 場所に応じた道路構成
- 歩道4~5m+停車帯2mもしくは路肩1m
- 建物の一階部分の壁面を1mセットバックすることも考えられる
- 1階店舗(パン屋、花屋、カフェなど)+上階集合住宅
- 駐車場の取り方の工夫と駐車場入口のある程度の制限が必要
- 建物は極端な色を避ける

⑨E地区:北西コーナー地区

- 沿道店舗(58号線沿線)
- 国体道路と58号線が交わる北西コーナーは工夫が必要
- 目立つ場所だか通常の利用方法は難しい
- 街区内部は集合住宅中心か?
- 中通り沿いは集合住宅
- 駐車場の取り方の工夫と駐車場入口のある程度の制限が必要
- 建物は極端な色を避ける

⑧D地区:フィッシャリーナ側飛び地地区

- 海への近さが魅力
- 一階店舗(レストランなど)、上階集合住宅となる可能大

⑦フィッシャリーナとのつながり

- フィッシャリーナとのつながりは海を感じさせるヤシの並木道
- その沿線におしゃれな店(ブティック、美容室、カフェなど)

⑥C地区:58号線を挟んでフィッシャリーナに面する地区

- 大規模店舗と小規模店舗の集積の双方の可能性(特に58号線沿線)
- 裏筋には集合住宅や飲食店、居酒屋等
- 中通り沿いは集合住宅
- 駐車場の取り方の工夫と駐車場入口のある程度の制限が必要
- 建物は極端な色を避ける

⑤B地区:交通アクセスの良い商業地区

- 大型店舗の立地の可能性が大
- 地区内幹線道路が大型店舗に専有化される恐れがある
- 地域貢献のあり方を考えてもらう(駐車場の一部を地域に開放してもらうなど)
- 建物の色や配置についてのデザインガイドライン必要(たとえば大きな面積の原色×)
- 大規模な駐車場の作り方に工夫が必要(周辺緑化など)

まちづくりの詳細イメージ図

- 緑陰を作る並木
 - ・樹種はフィカスハワイ
 - ・できるだけ並木の連続性を維持するため、5mピッチを基準とし、10m以上は間隔を空けない。
 - ・車路等の切り下げは並木を避ける(1敷地1ヶ所)



作画 小野 啓子



イメージ写真:フィカスハワイの並木
那覇市 古島

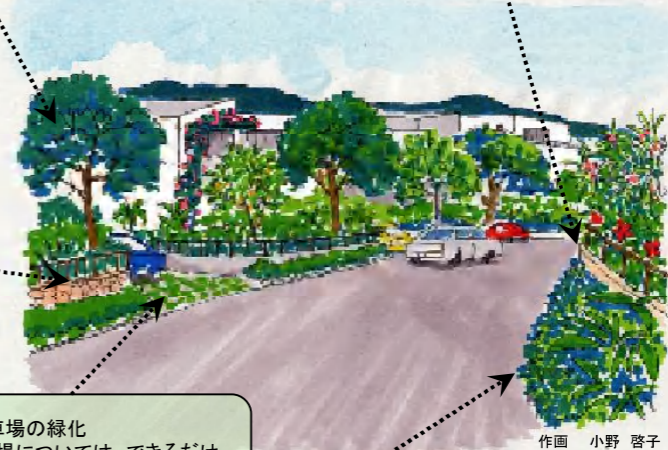
中通り

- 住宅地の景観形成
 - ・少なくとも敷地1本、シンボルツリー(高木)を植える。できれば、駐車台数1台につき1本

- フェンスの高さを抑える
 - ・高さ120センチ以下、60センチ以上の部分は透過性とする

- 駐車場の緑化
 - ・駐車場については、できるだけ緑化をする

- 擁壁の作り方
 - ・できるだけ擁壁を1m以内の高さに抑えるようにする。
 - ・高い擁壁ができる場合は緑化修景する



作画 小野 啓子



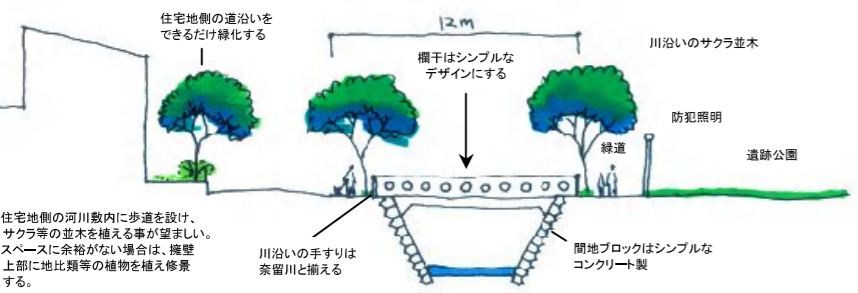
イメージ写真
出典:コモンで街をつくる:宮脇隆の住宅地設計、宮脇隆建築研究室編、丸善プラネット、1999年

低層住宅地

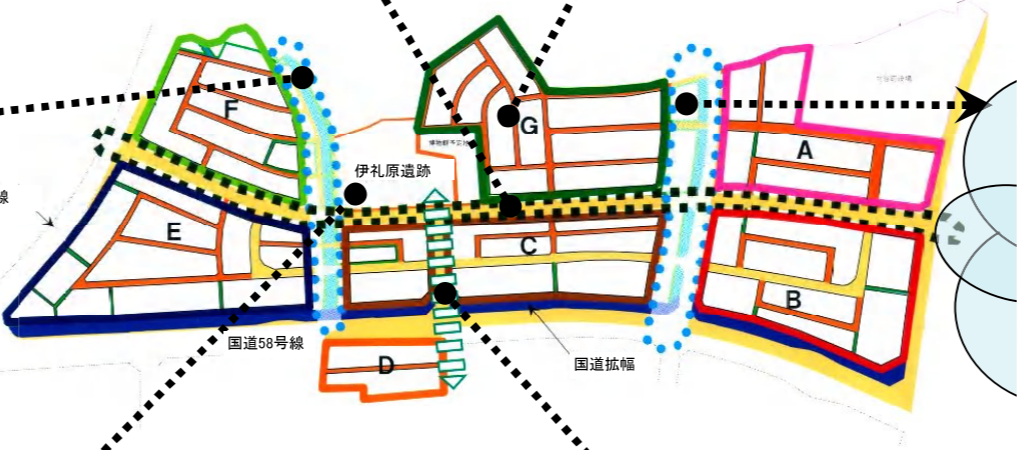
- 建物の作り方
 - ・詳細は地区計画で検討する必要がある。(例:建物の外壁の色は派手な原色を避ける、ただしアクセントカラーはOK、セットバック等)

- 歩道の作り方
 - ・舗装はシンプルで感じよく、管理しやすいものとする。(アスファルト、グレーのインターロッキング等)
 - ・樹木の植栽マスは余裕をもたせる。

徳川の断面イメージ



徳川周辺



作画 小野 啓子

- 海を感じさせる並木
 - ・見通しが良く明るいヤエヤマヤシの並木
 - ・3連で植えて、緑の連続性を演出



作画 小野 啓子

- まちづくりグループによる詳細計画の立案
 - ・地権者によるまちづくりグループを立ち上げ、商業施設の作り方(セットバック、外壁の色、駐車場の取り方等)を検討する必要がある



イメージ写真
出典:新たな都市再生の展開-街なか再生海外事例研究/アメリカ西海岸編(カリフォルニア州)、財団法人区画整理促進機構、街なか再生全国支援センター、平成14年

フィッシャリーナへ至る道路

- 斜面緑地の保全
 - ・景観上重要な斜面緑地の保全を図る

- 川沿いのサクラ等の並木
 - ・緑道沿いに58号線まで続くヒカンザクラ等の並木

- 街区公園のイメージ
 - ・芝生の原っぱを基本とする
 - ・日陰をつくり、木登りができるシンボルツリー(高木)。ガジュマルやホウオウボクなど
 - ・防犯照明
 - ・作業小屋、(維持管理の道具を入れる。手を洗う)



遺跡公園周辺

- 150坪以上の高級感あるモデル的な住宅街区

- 歩道の作り方
 - ・ページュからブラウン系のレンガ舗装が望ましい

アンケート調査表

(A・B 地区)

※ 該当するところに○を記入して下さい

1、今日の説明会を聞いての感想

イ、大変良かった □、良かった ハ、普通 ニ、良くなかった
ホ、その他 _____

2、今後の説明会について

イ、まちづくりに関する講演会などをやってほしい
□、土地活用の参考になるような事をやってほしい
ハ、わからない
ニ、その他 _____

3、桑江伊平地区の緑化について

イ、ある程度の制限をかけて緑化を進めた方が良い
□、個人の意識にまかせた方が良い
ハ、わからない
ニ、その他 _____

5、説明会やまちづくりに関する意見がありましたら

(_____

_____)

ありがとうございました。

桑江伊平地区まちづくり 地区別説明会（F・G 地区）

平成21年3月25日（水）

PM 6:00 ~ PM7:30（レセプションホール）

C・D・E地区 対象者	120	参加者	21	出席率	17.5%
中間アンケート回答者	4				
最終アンケート回答者	10				

中間アンケート（説明を聞いての感想・意見など）

- ・道路の舗装は、下水道、水道設備などの埋設物が完了後、掘り返しの無いようにして頂きたい。
- ・58号から国体道路へあがる所ですが、傾斜があり非常に使いにくい場所であるのは分かりますが、公園が58号沿いにあると言うのは一寸考えづらいです。
- ・交通量の多さなどによる空気の悪さが気におなり、あまり人のいない公園になるのでは？
- ・今日の説明会は良かったと思います。よその地域の例が知りたい。
- ・公園以外の公共施設の建築予定は？（公民館・児童館・・・）
- ・共働き世帯が暮らしやすい環境作りを望みます
- ・小学校の校区はどうなりますか？
- ・防犯対策で考えていることは？

最終アンケート調査

質問 1 説明会を聞いての感想 ※ 回答者 10名

	大変良かった	良かった	普通	良くなかった	その他	計	その他の内容
人数	4	5	1			10	
率	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100%	

質問 2 今後の説明会について ※ 複数回答有り

	講演会など	土地活用	わからない	その他	無回答	計	その他の内容
人数	4	4			2	10	
率	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%		80%	

質問 3 桑江伊平地区の緑化について

	ある程度の制限を かけて緑化を推進	個人の意識 にまかせる	わからない	その他	無回答	計	その他の内容
人数	8	2				10	
率	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	

説明会やまちづくりに関する意見

道路について

- ・イメージ図以外にコミュニティ道路や自転車専用道路計画などがありますか？
- ・その地区のニーズに合った道路づくりのコンセプトがはっきりした方が良い

地区別説明会 (F・G 地区)

平成21年3月25日 (水) (レゾナンスホール)

